

**国道153号 飯田南道路
(飯田市山本地区・伊賀良地区)
第2回 意見聴取結果**

国土交通省 中部地方整備局

令和元年10月23日

目 次

1. 第2回意見聴取の結果

- 1)意見聴取の概要
- 2)回答者属性
- 3)回答者の国道153号利用形態
- 4)ルート帯案重要事項
- 5)自由意見、ヒアリング結果

1. 第2回意見聴取の結果

1. 第2回意見聴取の結果 1)意見聴取の概要①

■意見聴取に際し、補足説明資料を作成し、アンケート票に同封した。

道路計画に関するご意見をお聞かせください

国道153号 の計画に関する
飯田市山本～飯田市伊賀良 第2回アンケート



このアンケートの対象は、国道153号（飯田市山本～飯田市伊賀良）の区間です。

広域図



拡大図



アンケートの答え方は、P.2を
ごらんください。

回答用の郵便はがきは、お近くのポストへ

平成31年4月15日(月) までに投かんを
お願いします。

※この期間以降にご回答いただいた場合、集計に反映されない場合がございます。 P.1

お問い合わせ先  国土交通省 中部地方整備局
飯田国道事務所 計画課 〒395-0024 長野県飯田市東栄町3350
電話：TEL(0265)53-7204(直通)
ホームページ：http://www.cb.mlit.go.jp/iikoku/

1. 第2回意見聴取の結果 1)意見聴取の概要③

地域の課題と課題を解決するための目標について

国道153号飯田市山本地区・伊賀良地区における課題解決のための目標を定めました

第1回委員会にて整理した地域の課題と地域の皆様から頂いたご意見(第1回意見聴取結果)をもとに課題を解決するための目標を以下の通り定めました。

課題 1 渋滞

- ◆ 国道153号は、飯田市街地への通勤等に利用されています。
- ◆ 特に飯田IC西交差点付近では、朝夕を中心に渋滞が発生しています。



朝の渋滞状況

朝ピーク時渋滞状況(飯田IC西交差点付近)

第1回意見聴取で
いただいたご意見

渋滞を解消してほしい

目標

交通の円滑化

課題 2 事故

- ◆ 対象区間では、死傷事故率が長野県平均の約1.5倍となっています。
- ◆ 歩道が狭い箇所があり、通学児童など歩行者が事故に巻き込まれる危険性があります。



現在の歩道の状況(児童通学時)
(大瀬木交差点付近)

歩行者の近くを
大型トラック等が
通り危険

第1回意見聴取で
いただいたご意見

十分な幅員確保・
安全性の高い道路が必要

目標

交通安全の確保

課題 3 アクセス強化

- ◆ リニア中央新幹線長野県駅の開業による観光客の増加や産業の活性化が見込まれています。
- ◆ 県外からの観光客の誘客につなげるため、観光地へのアクセス向上が求められています。



観光
振興

リニア中央新幹線



産業
振興

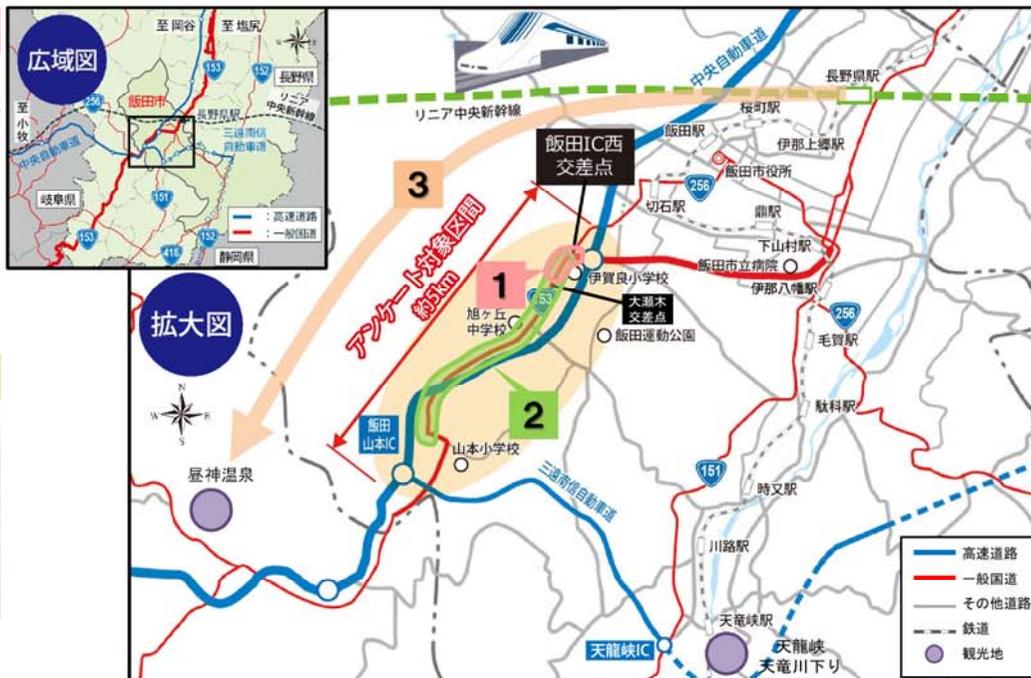
成長が見込まれる航空宇宙産業

第1回意見聴取で
いただいたご意見

産業拠点や観光地への
アクセス向上が必要

目標

地域振興



定めた目標と以下配慮事項を踏まえ、対策案を検討します。

基本コンセプト: 渋滞の緩和、交通安全の確保、アクセス強化を図り、主要幹線道路及び安全・安心な生活道路としての機能向上を目指す

○対策案を検討する上でのその他の配慮事項

- | | |
|---------|----------|
| 自然環境の保全 | 生活環境への配慮 |
| 防災への配慮 | 経済性への配慮 |

対策案の方針: 既存の道路ストック活用や別線整備等の対策案を検討

○対策案を検討する上での重視すべき事項

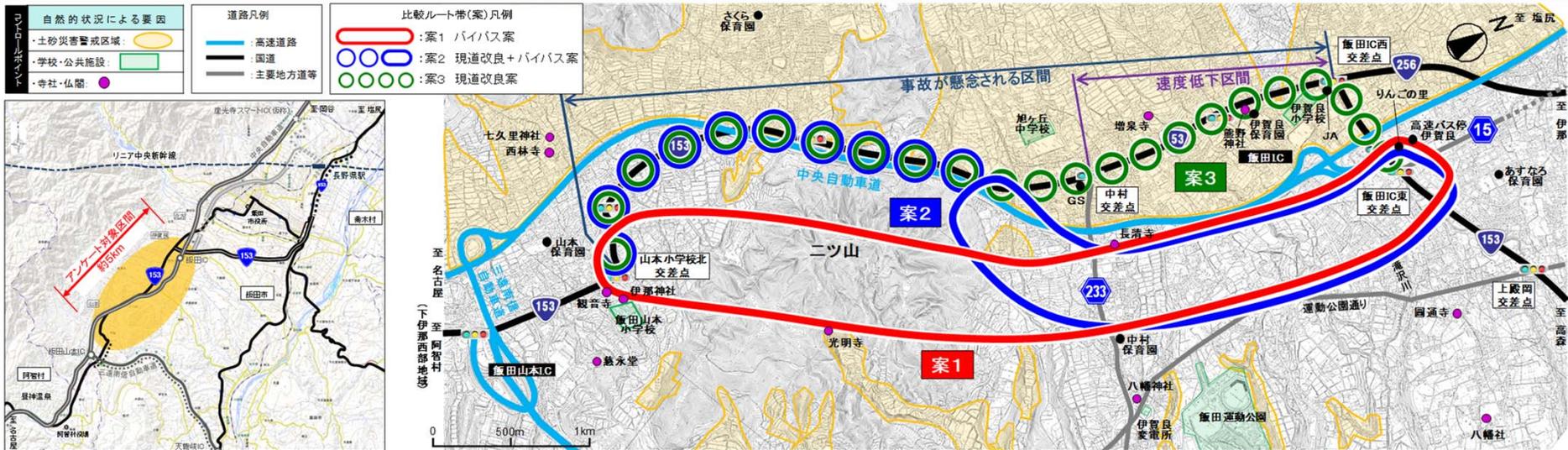
- | | |
|----------------------------|---------------------------------|
| 渋滞が少なくなること | 工事中の周辺住民への影響が小さいこと |
| 交通事故の危険性が減少すること | 転居が必要な家・店舗など、現道の沿道利用環境の変化が少ないこと |
| 歩行者が安全に通行できること | 国道153号(バイパス及び現道)の沿道利用が見込まれること |
| リニア新幹線を利用した観光客が観光地へ行きやすいこと | 災害時に道路を通れること |
| 自然環境の変化が少ないこと | 道路をつくる費用が安いこと |

1. 第2回意見聴取の結果 1)意見聴取の概要④

質問内容

地域の課題を解決するために、以下のような対策案(3つの比較案)を検討しています。対策案について、右下の質問事項にお答え下さい。

(1)各ルートの位置図



(2)各ルートの比較表

評価項目	番号	評価ポイント	案1: バイパス案	案2: 現道改良+バイパス案	案3: 現道改良案
政策目標に対する評価	交通の円滑化	① 渋滞が少なくなる	全線でバイパスを整備し、通過交通を分離することで、渋滞や事故が懸念される箇所の課題解消を図る案 約4km	南側で現道拡幅、北側でバイパスを整備し、沿道利用を一定程度配慮しつつ市街地部の通過交通分離を図る案 約6km	全線で現道を拡幅し、沿道利用に配慮しながら、渋滞や事故が懸念される箇所の課題解消を図る案 約5km
	交通安全	② 道路線形が良くなる	バイパスに交通が移ることで交通量が減少し、渋滞が少なくなる	バイパス区間に交通が移ることで交通量が減少し、渋滞が少なくなる	渋滞は少なくなるが、混雑している飯田IC西交差点を回避できない
	歩行者の安全	③ 歩道の幅が広がる	線形のよいバイパスができることで、安全性が向上	坂道は残るが、急カーブがなくなり、安全性が向上	坂道は残るが、急カーブがなくなり、安全性が向上
	地域の賑わい	④ リニア長野駅から観光地へ早く到着できること	バイパスに交通が移ることで、歩行者の安全性が向上。なお、現道については歩道の幅を広くすることも可能	現道を改良する区間で歩道の幅が広くなり、安全性が向上	歩道の幅が広くなり、安全性が向上
配座すべきポイントに対する評価	自然環境の保全	⑤ 自然環境への影響が少ないこと	全線で道路を新しく整備するため自然環境の変化が大きい	バイパス区間において道路を新しく整備するため、自然環境の変化が大きい	全線で現道を改良するため、自然環境の変化が小さい
	生活環境への配慮	⑥ 集落の近くで工事をしないこと	集落を回避するため工事中における生活環境への影響は小さい	現道を改良する区間において集落の近くで工事をするため、案1より工事中における生活環境への影響が大きい	集落の近くで工事をするため、工事中における生活環境への影響が大きい
		⑦ 転居が必要な家・店舗の数が少ないこと	集落を回避するため、転居が必要な家・店舗の数が少ない	現道を改良する区間で集落を通過するため、転居に必要な家・店舗の数が多く、現道の沿道改良がある	集落を通過するため、転居に必要な家・店舗の数が多く、現道の沿道改良がある
その他	災害における影響	⑧ 沿道利用が見込まれること	バイパスの沿道利用が見込まれるが、一方で通過交通がバイパスに転換することにより現道の沿道利用は減少する	バイパス区間ではバイパスの沿道利用が見込まれるが、一方で通過交通がバイパスに転換することにより現道の沿道利用は減少する	現道の沿道利用は変化しない
		⑨ 土石流等の危険性がある地域を回避すること	土石流等の危険性がある地域を回避するため、他案に比べて災害時に道路を通れる可能性が高い	一部、土石流等の危険性がある地域を回避できないため、案1と比べて、災害時に道路を通れるか懸念が残る	一部、土石流等の危険性がある地域を回避できないため、案1と比べて、災害時に道路を通れるか懸念が残る
	経済性	⑩ 道路をつくる費用が安いこと	約230~250億円	約190~210億円	約220~240億円

(3)質問事項

対策案(ルート帯案)を検討する際に、政策目標・配慮するポイントで、重要だと思う事項
質問1:この地域(飯田市山本~飯田市伊賀良)にとって、望ましいルート帯案を考える際に重要だと思うことは何ですか。
以下の①~⑩の項目について、4段階評価してください。
その他ご意見があれば11にご記入ください。

<4段階評価>

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

- ① 渋滞が少なくなることが重要
- ② 交通事故の危険性が減少することが重要
- ③ 歩行者が安全に通行できることが重要
- ④ リニア新幹線を利用した観光客が観光地へ行きやすいことが重要
- ⑤ 自然環境の変化が少ないことが重要
- ⑥ 工事中の周辺住民への影響が小さいことが重要
- ⑦ 転居が必要な家・店舗など、現道の沿道利用環境の変化が少ないことが重要
- ⑧ 国道153号(バイパス及び現道)の沿道利用が見込まれることが重要
- ⑨ 災害時に道路を通れることが重要
- ⑩ 道路をつくる費用が安いことが重要
- ⑪ その他(自由回答)

質問2:この地域(飯田市山本~飯田市伊賀良)の現在の道路の状況や、今後の道路整備等について、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

質問3:国道153号(飯田市山本~飯田市伊賀良)の利用状況等についてお答え下さい。
質問内容は、ハガキに記載しております。

※現道:現在の国道153号

1. 第2回意見聴取の結果 1)意見聴取の概要⑦

- 意見聴取期間は、平成31年2月22日～平成31年4月15日。
- 下伊那地域の住民、地方公共団体、各種団体、道路利用者を対象にアンケート・ヒアリングを実施。

●意見聴取(2回目)の概要

	調査内容	対象	調査票形式	配布数	回収数(回収率)
アンケート	住民アンケート	・下伊那地域内などの市町村在住の方	郵送	65,344	16,512(25%)
			留置き	—	402
			HP	—	36
	小計			65,344	16,950
	沿線地域事業者アンケート	・商工会、観光協会、県トラック協会、県バス協会、県タクシー協会の会員企業	郵送	375	190(51%)
道路利用者アンケート	・下伊那地域内の「道の駅」利用者 ・観光地利用者 ・高速PA利用者	留置き	—	47	
合計(アンケート)				65,719	17,187
ヒアリング	各種団体聞き取り調査	・警察、消防、学校、商工会、観光協会、温泉旅館組合、旅行業協会、農業協同組合、道の駅関係者 ・下伊那地域内の市町村 ・愛知県、長野県	ヒアリング	—	65

周知方法：記者発表、ポスター掲示、国HPへのバナー貼り付け、市広報誌

配布方法：①住民アンケートは、全戸配布

②道路利用者アンケートは、観光地や「道の駅」、高速PAへアンケート用紙設置

回収方法：①郵便ポスト

②市町村役場や「道の駅」に投函ボックスを設置

期間：約2ヶ月(平成31年2月22日～4月15日)

●アンケート項目

2. 国道153号(飯田市山本～飯田市伊賀良)に関する現在の交通課題について

問2-1:この地域(飯田市山本～飯田市伊賀良)にとって、望ましいルート帯案を考える際に重要だと思うことは何ですか？

以下の①～⑩について、4段階評価してください。

その他ご意見があれば⑪にご記入ください。

<4段階評価>

該当する数字を○で囲んで下さい。



交通課題	あなたの評価の程度			
	1	2	3	4
①渋滞が少なくなることが重要	1	2	3	4
②交通事故の危険性が減少することが重要	1	2	3	4
③歩行者が安全に通行できることが重要	1	2	3	4
④リニア新幹線を利用した観光客が観光地へ行きやすいことが重要	1	2	3	4
⑤自然環境の変化が少ないことが重要	1	2	3	4
⑥工事中の周辺住民への影響が小さいことが重要	1	2	3	4
⑦転居が必要な家・店舗など、現道の沿道利用環境の変化が少ないことが重要	1	2	3	4
⑧国道153号(バイパス及び現道)の沿道利用が見込まれることが重要	1	2	3	4
⑨災害時に道路を通れることが重要	1	2	3	4
⑩道路をつくる費用が安いことが重要	1	2	3	4
⑪その他(自由回答)				

問2-2:この地域(飯田市山本～飯田市伊賀良)の現在の道路の状況や、今後の道路整備等について、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。【自由回答】

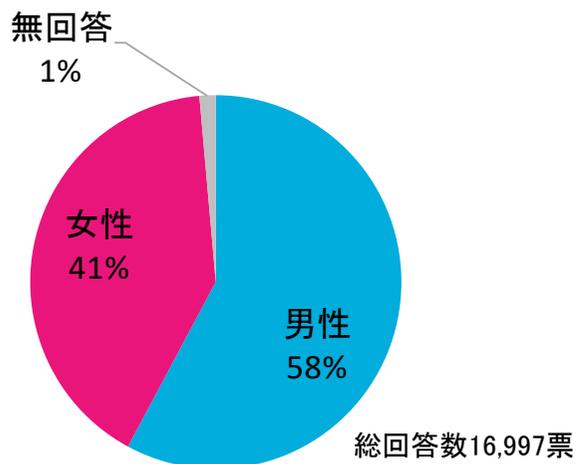
アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

1. 第2回意見聴取の結果 2)回答者属性②

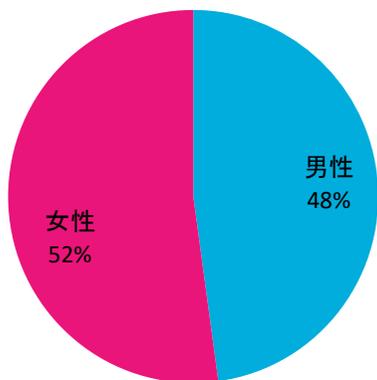
- 男性が約6割と多い傾向。年齢は60歳以上が約6割を占める。
- 統計データと比較すると、本取得データは性別では男性、年齢では特に60代の割合が多い。
- 航空宇宙産業などの企業が集積している当地域では、業種は製造業が約2割で最も多い。

回答者属性

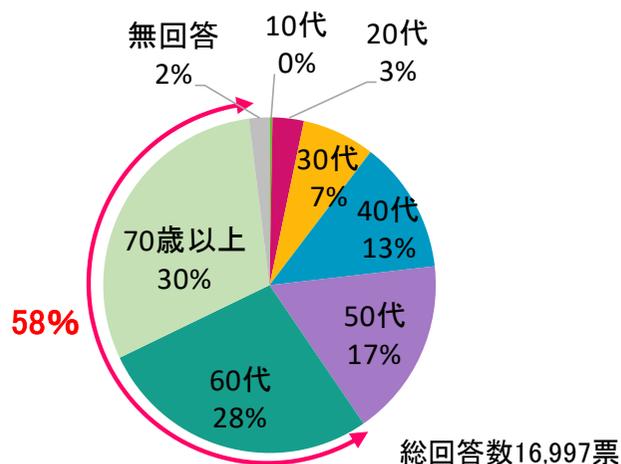
■性別(住民、道路利用者)



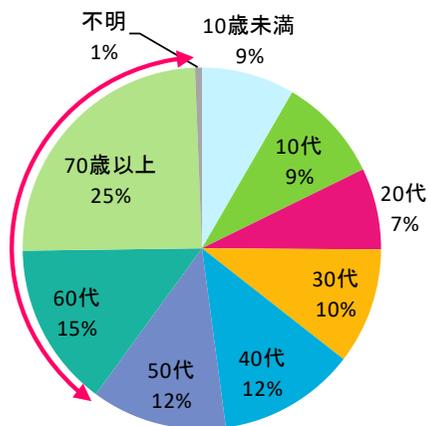
■参考:性別公表データ(国勢調査)



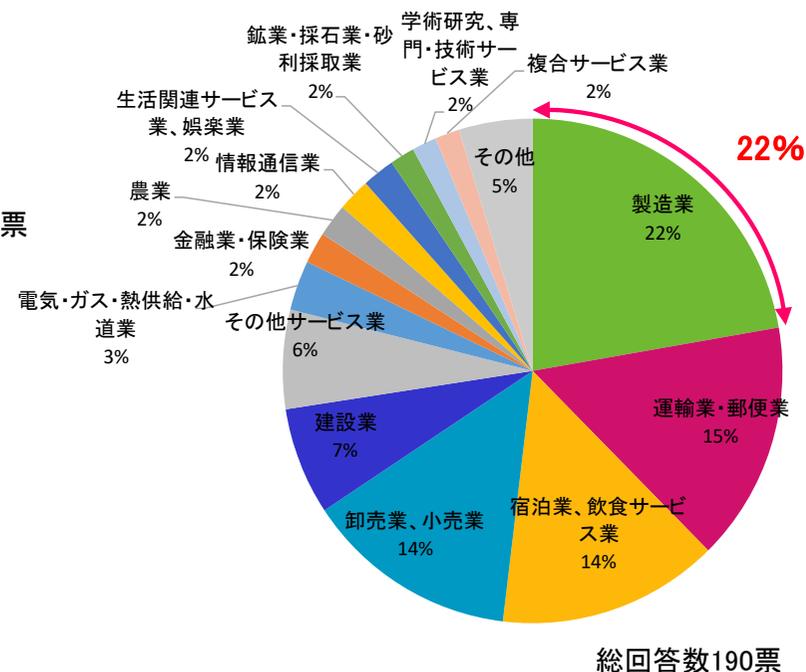
■年齢(住民、道路利用者)



■参考:年齢公表データ(国勢調査)



■業種(沿線地域事業者)



※H27国勢調査:下伊那地域で集計
(飯田市・松川町・高森町・阿南町・阿智村・平谷村・根羽村・下條村・売木村・天龍村・泰阜村・喬木村・豊丘村・大鹿村)

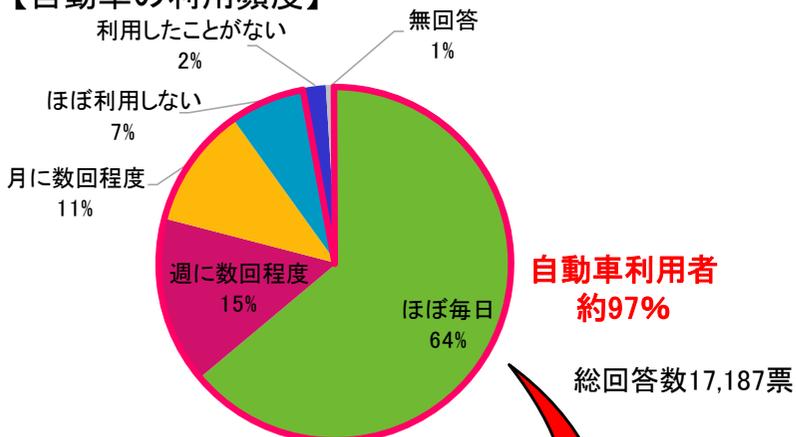
※H27国勢調査:下伊那地域で集計
(飯田市・松川町・高森町・阿南町・阿智村・平谷村・根羽村・下條村・売木村・天龍村・泰阜村・喬木村・豊丘村・大鹿村)

1. 第2回意見聴取の結果 3)回答者の国道153号利用形態

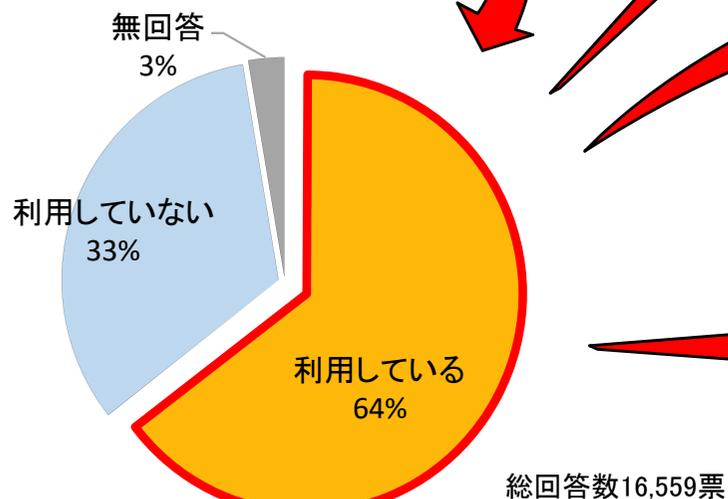
- 回答者のうち自動車を利用している人が97%。そのうち、国道153号を利用している人が64%。
- その利用目的は、「日常的な買い物・通院等」、「仕事」の項目が多く。次いで「観光・レジャー」が2割程度。
- また、その利用時間帯は、「6～9時」・「9～12時」・「12～15時」・「15～18時」がそれぞれ同程度であり、幅広い時間帯で利用されている傾向。

自動車の利用頻度と国道153号利用者の割合

【自動車の利用頻度】

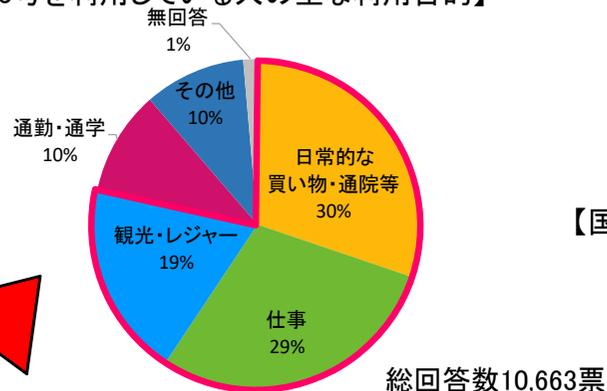


【自動車利用のうち、国道153号(山本～伊賀良)利用者の割合】

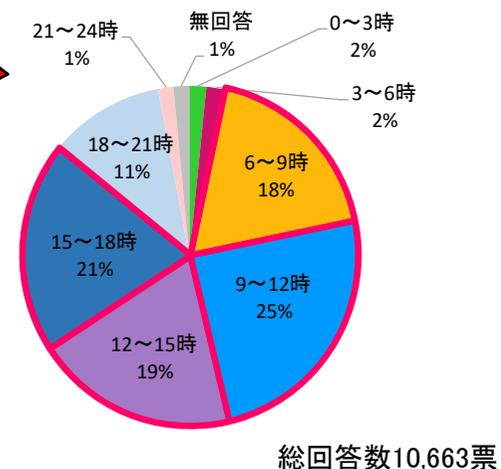


国道153号(山本～伊賀良)の利用目的・利用時間帯・目的地

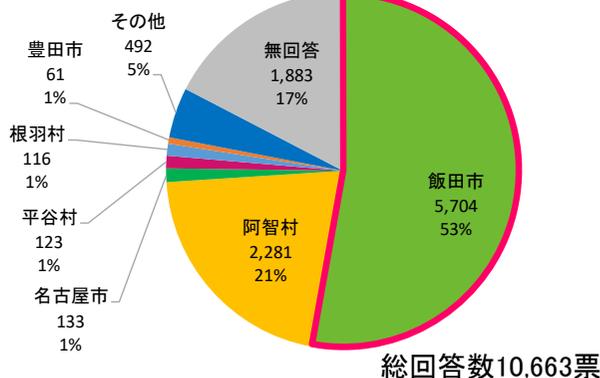
【国道153号を利用している人の主な利用目的】



【国道153号を利用している人の 主な利用時間帯】



【国道153号を利用している人の主な目的地】



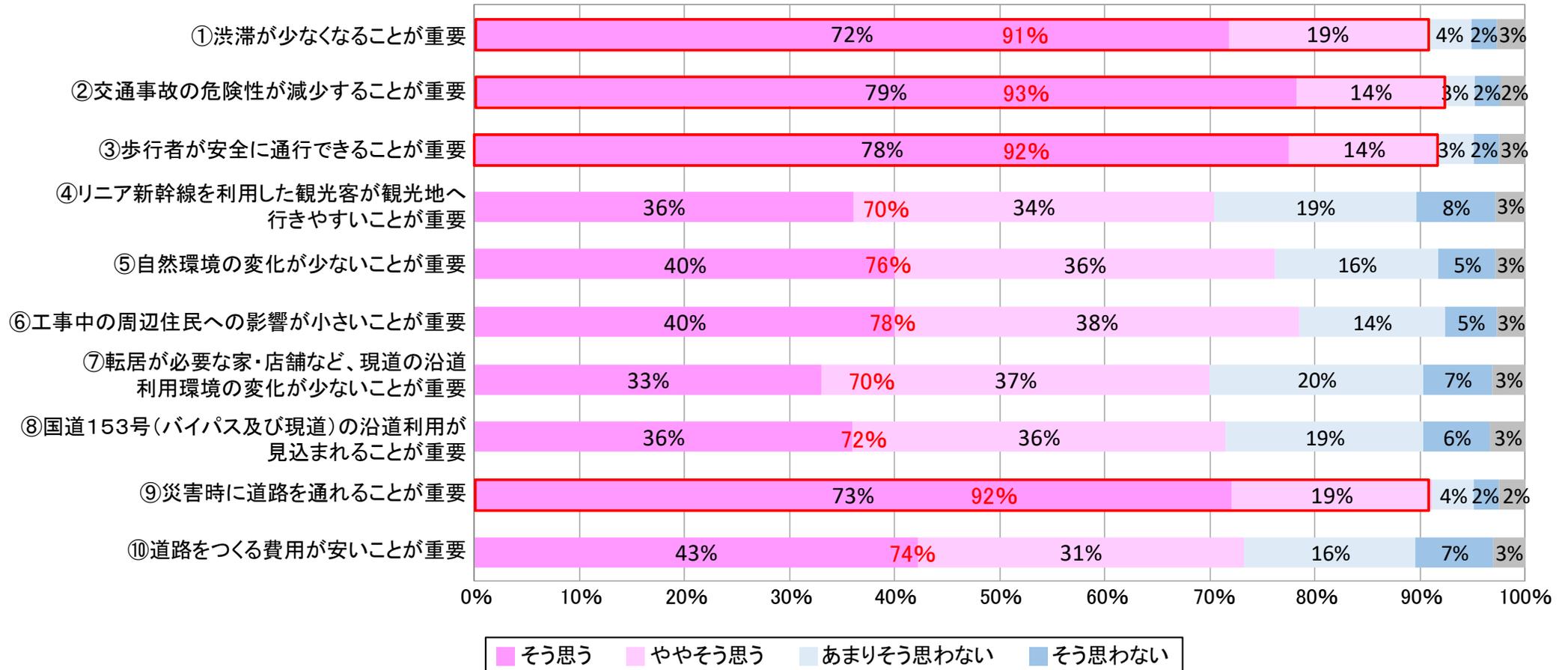
1. 第2回意見聴取の結果 4)ルート帯案重要事項①

■対策案（ルート帯案）を検討する際に、政策目標・配慮するポイントで、重要だと思う事項について、「渋滞が少なくなること」、「交通事故の危険が減少すること」、「歩行者が安全に通行できること」、「災害時に道路を通れること」が重要と回答した割合が9割以上と高い。

全体

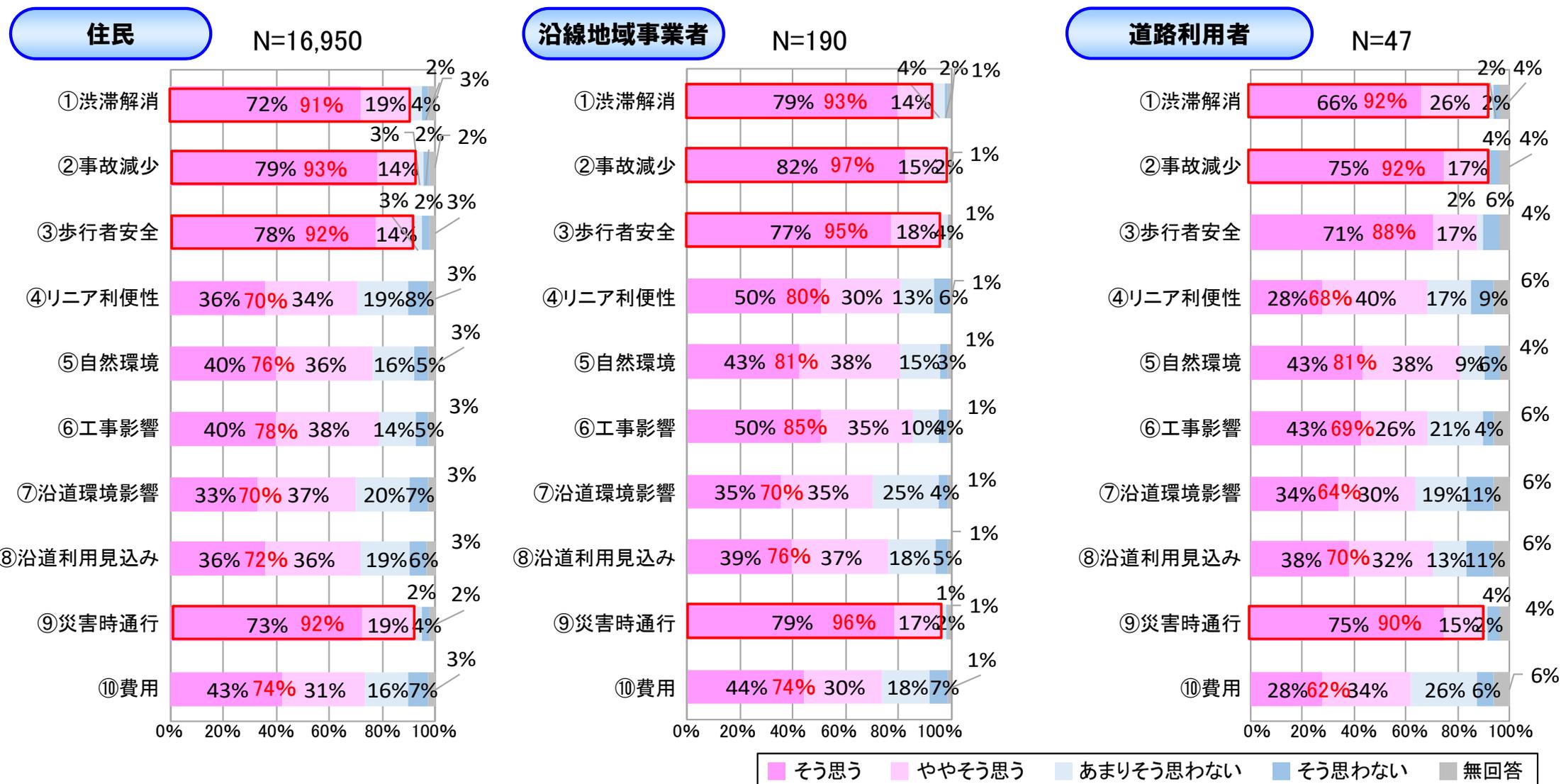
N=17,187

Q:この地域(飯田市山本～飯田市伊賀良)にとって、望ましいルート帯案を考える際に重要だと思うことは何ですか。以下の①～⑩の項目について、4段階評価してください。



1. 第2回意見聴取の結果 4)ルート帯案重要事項②

- 住民は、「①渋滞解消」、「②事故減少」、「③歩行者安全」、「⑨災害時通行」が重要という意見が多い。
- 沿線地域事業者は、「①渋滞解消」、「②事故減少」、「③歩行者安全」、「⑨災害時通行」が重要という意見が多い。
- 道路利用者は、「①渋滞解消」、「②事故減少」、「⑨災害時通行」が重要という意見が多い。

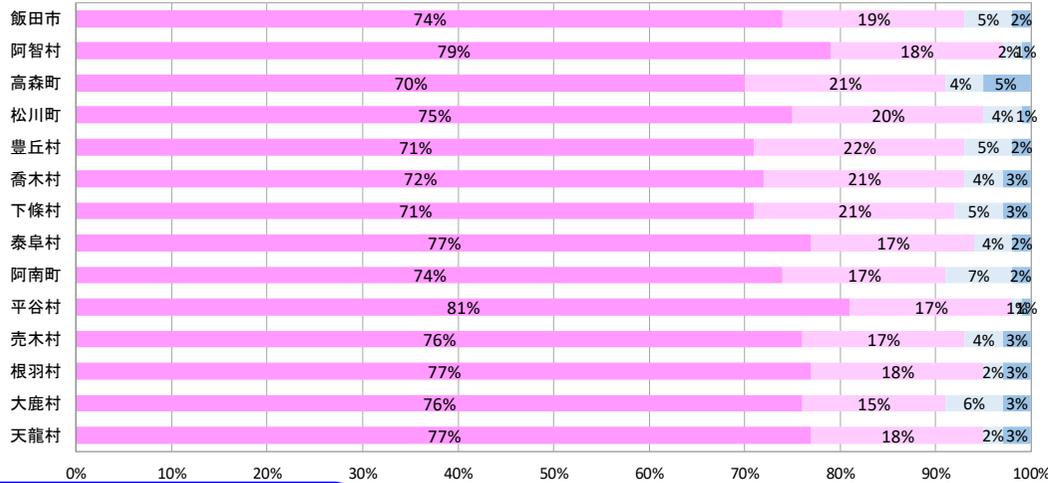


1. 第2回意見聴取の結果 4)ルート帯案重要事項③

- 国道153号沿線に位置する阿智村、平谷村は、「①交通渋滞」「②交通事故の危険性」で重要という意見が多い。
- 国道153号周辺に位置する阿智村、豊丘村、下條村、平谷村、売木村、根羽村は、リニア駅開業による観光振興が期待されるため、「④リニア駅開業への対応」で重要という意見が多い。
- 国道153号沿線に位置する阿智村、平谷村、根羽村は、災害時の路線強化を期待されるため、「⑨災害時の利用」で重要という意見が多い。

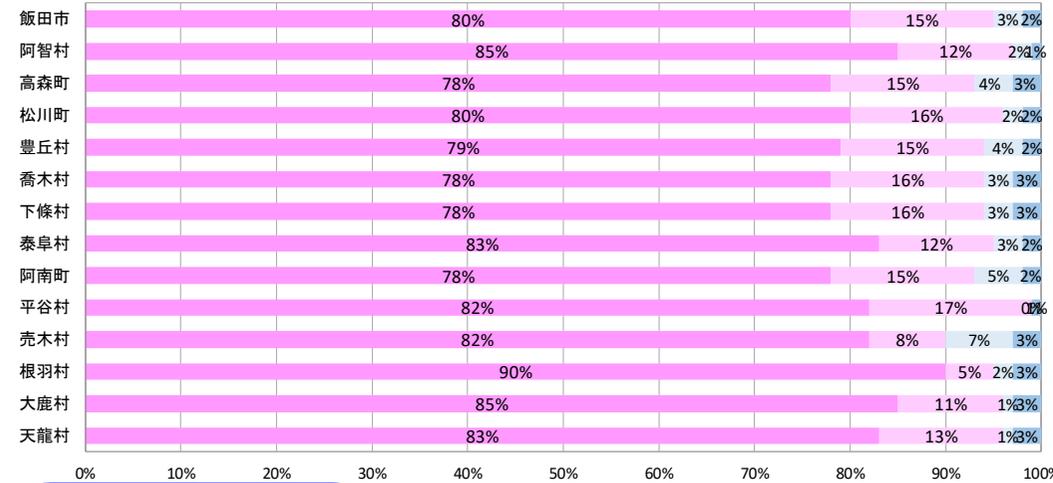
①交通渋滞

N=16,109 ※



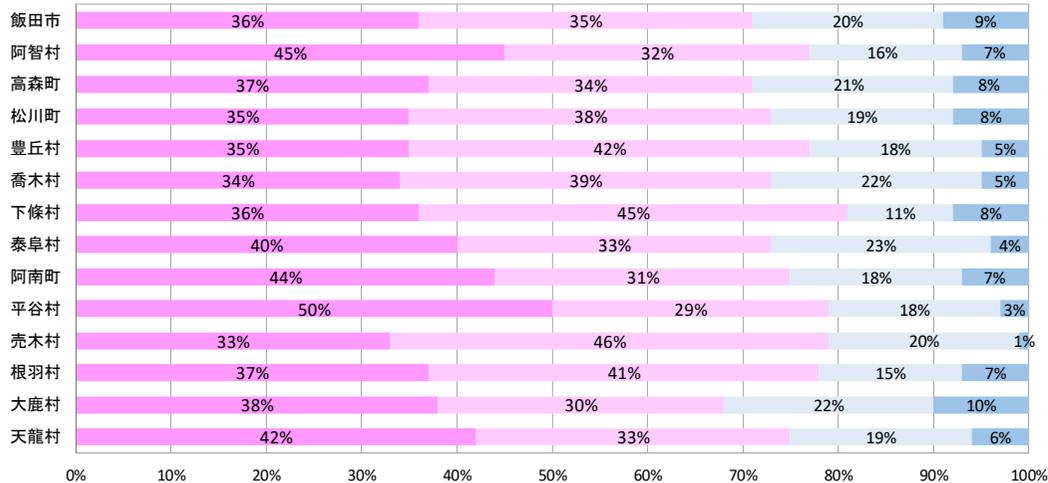
②交通事故の危険性

N=16,162 ※



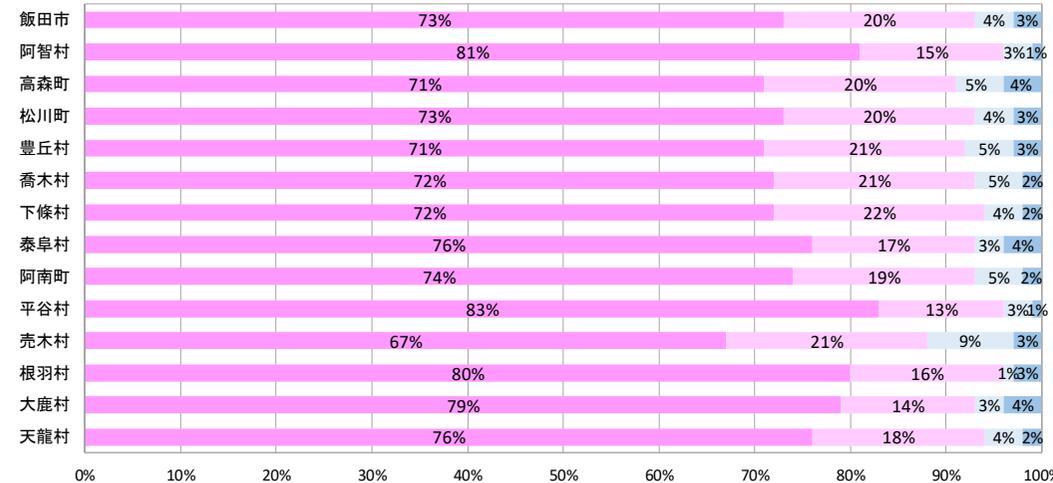
④リニア駅開業への対応

N=16,098 ※



⑨災害時の利用

N=16,152 ※



■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

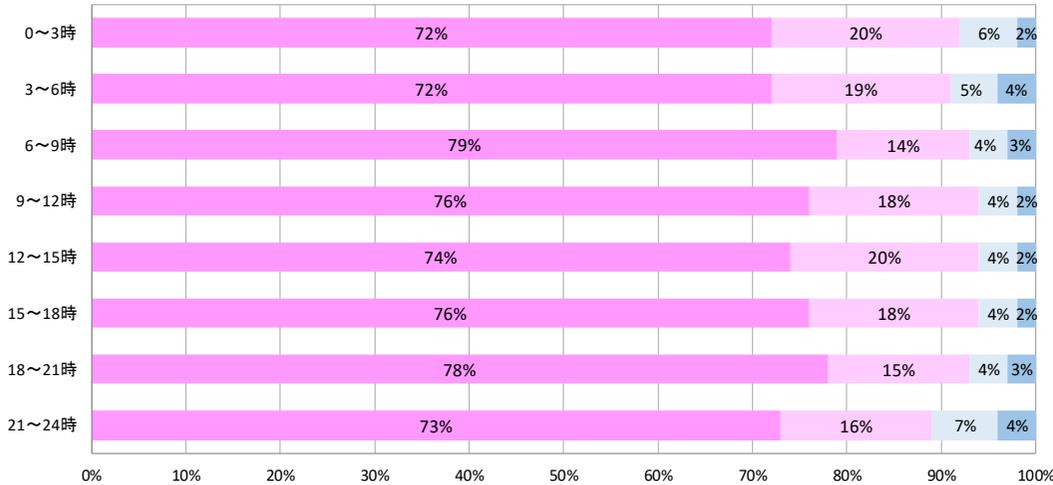
※無回答者は除く回答数

1. 第2回意見聴取の結果 4)ルート帯案重要事項④

- 「6～9時」「9～12時」「15～18時」「18～21時」の通勤・帰宅の時間帯を利用する人は、「①交通渋滞」で重要という意見が多い。
- すべての時間帯で、「②交通事故の危険性」は重要という意見が多い。

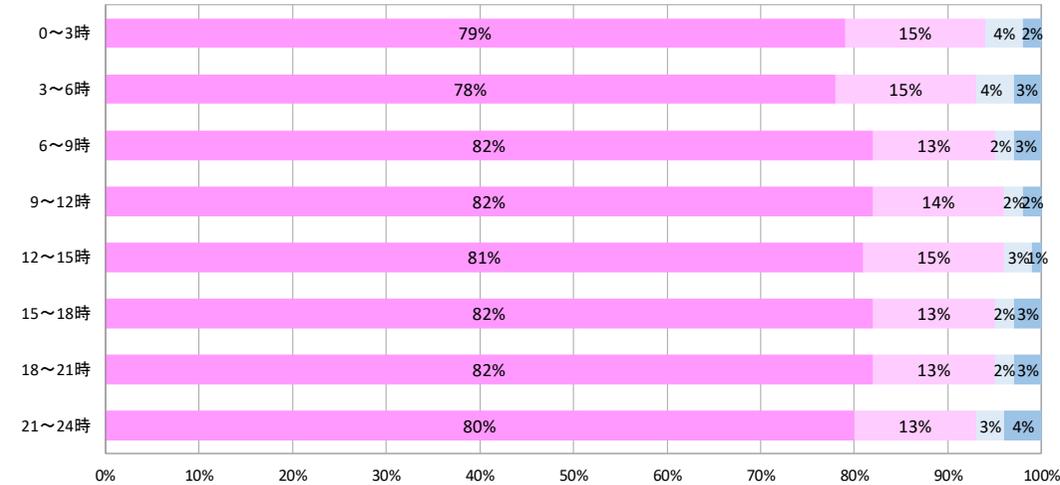
①交通渋滞

N=18,372 (複数回答可) ※



②交通事故の危険性

N=18,397 (複数回答可) ※



■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

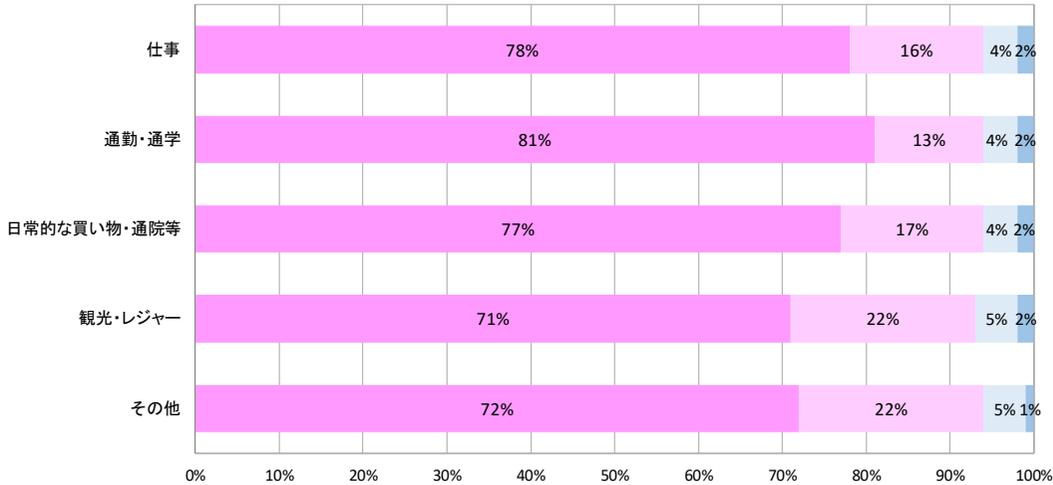
※無回答者は除く回答数

1. 第2回意見聴取の結果 4)ルート帯案重要事項⑤

- 利用頻度が多い仕事、通勤・通学、日常的な買い物・通院等の利用者は、「①交通渋滞」「②交通事故の危険性」で重要という意見が多い。
- 観光・レジャーの利用者は、観光地へのアクセス性向上を期待し、「④リニア駅開業への対応」で重要という意見が多い。
- 日常的な買い物・通院等の利用者は、沿道商店等への利用が考えられるため、「⑧沿道利用」で重要という意見が多い。

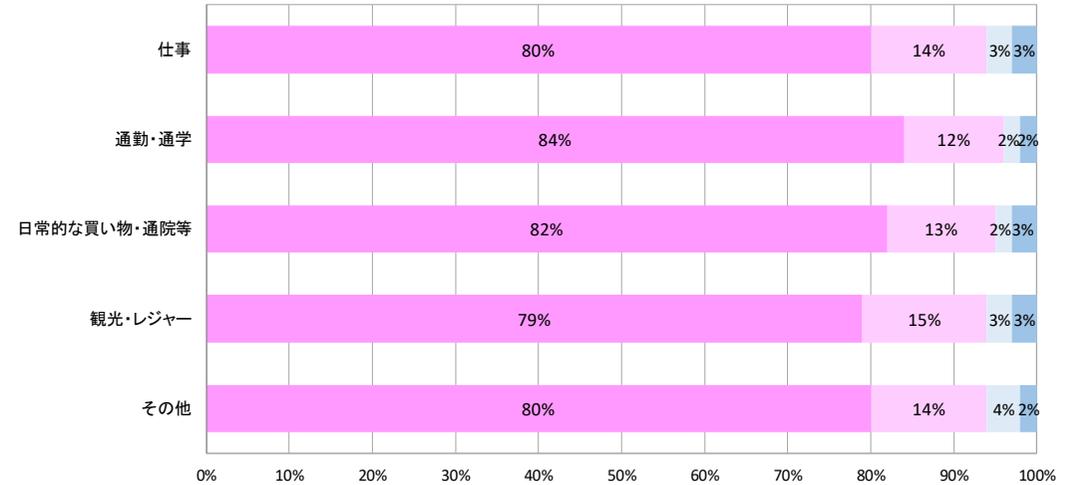
①交通渋滞

N=10,959 ※



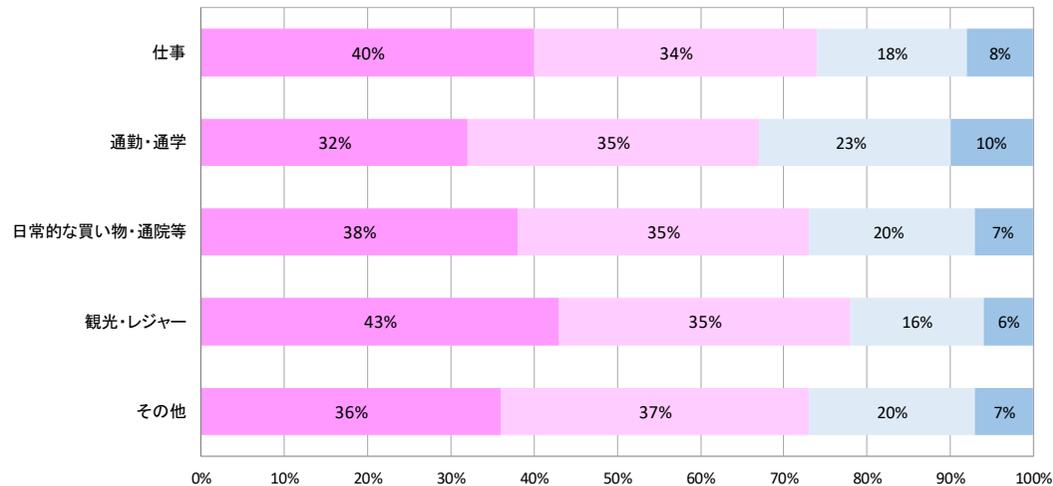
②交通事故の危険性

N=10,981 ※



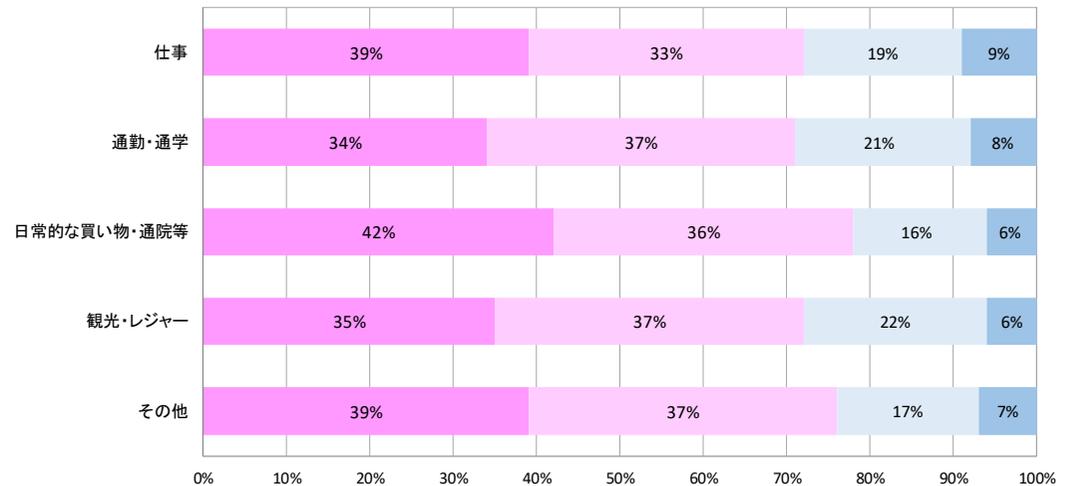
④リニア駅開業への対応

N=10,946 ※



⑧沿道利用

N=10,919 ※



■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

※無回答者は除く回答数

1. 第2回意見聴取の結果 5)自由意見、ヒアリング結果①

- 渋滞面では、渋滞が解消されることや移動時間が読みやすくなることを求める意見が寄せられた。
- 交通事故では、安全に走行出るような道路の幅と線形や生活交通と地域を通過する交通に分離することを求める意見が寄せられた。

分類	回答者属性	主な意見
① 渋滞が少なくなる ことが重要	飯田市	渋滞が少なくなり、移動時間のロスが少なくなるほか、環境負荷の低減につながる。
	阿智村	飯田市内に村から通勤する方が多く、通勤時の渋滞を解消したい。
	愛知県	愛知県方面からの広域交通は高速道により定時性が確保されているが、インターを降りた後、飯田市内で渋滞があると、時間信頼性の面で課題。
	阿南警察署	阿南町から飯田市街へ移動する際、国道151号のみでなく、天龍峡ICから三遠南信道～国道153号を使うルートも選択肢として出てくることで、交通が分散できることに期待している。
	飯田商工会議所	飯田市内の国道151号の近辺には企業が多数立地しており、渋滞の解消。
	豊丘村商工会	飯田南道路ができると、ルートの選択肢が増えることで交通が分散することができ、地域全体で円滑化できるのではと期待している。
	松川町観光協会	上郷～座光寺地区にかけて交通渋滞が起こっており、農道を迂回路として利用している状況であるためバイパスの整備。
	長野県トラック協会	時間が読めるようになることを期待している。
	長野県バス協会	渋滞の課題が大きいため、これを解消させることを重視すべきと考える。
	長野県タクシー協会	時間が読めることが重要。
	JAみなみ信州	JAでは、伊賀良・北方地区にある集荷施設の再整備を計画している。特に飯田IC西交差点周辺の渋滞解消を期待している。
住民/飯田市/20代	渋滞が解消され、円滑に交通することができる道路整備を望みます。	
② 交通事故の危険 性が減少するこ とが重要	飯田市	交通事故の危険性が減少し、歩行者(通学路)の安全性も高まることで、安心・安全な暮らしの実現につながる。
	飯田警察署	渋滞が無くなれば、追突事故も減少すると思う。その一方で、まっすぐな道路では、速度超過を招くおそれがある。
	阿南警察署	交通量の分散効果、地元の生活交通と通過交通の分離することで、安全性の向上に期待している。
	長野県タクシー協会	安全に通行できる幅員と線形が重要である。ただし、スピードが出過ぎないようにして欲しい。
	住民/飯田市/40代	交通事故、歩行者の安全を最優先にお願いします
	住民/飯田市/60代	早くバイパスを整備して、市道の渋滞を少なくする事を望む(いつも生活道路へ車が入ってくる)
	住民/豊丘村/50代	交通事故が少なく、皆が安全に通れ、費用があまりかからない程度が良い。

1. 第2回意見聴取の結果 5)自由意見、ヒアリング結果②

- 歩行者の安全では、小学校・中学校の児童の安全確保を求める声、歩道・自転車道の整備を求める意見が寄せられた。
- 観光では、リニア駅へのアクセス性向上を求める意見が寄せられた。
- 環境では、今の自然環境を悪化させないことを求める意見が寄せられた。

分類	回答者属性	主な意見
③歩行者が安全に通行できることが重要	旭ヶ丘中学校	旭ヶ丘中学校の下校時刻と伊賀良小学校の下校時刻が重なることがあり、狭い歩道に生徒・児童があふれることがある。中学生が車道にはみ出して歩き、過去に苦情を受けたことがある。
	伊賀良小学校	歩道は広い方が良い。また、バイパス等を整備した場合は、山本地区でも行ったように道路の再配分をしてほしい。現道は地域の交通や歩行者に特化した道路を望む。
	山本小学校	平面交差点を通学路に指定されていると、信号があっても児童を歩かせるのが心配という保護者の声もある。道路整備の際には、児童の横断箇所に留意して計画してほしい。
	天龍村商工会	学生のために通学路部分に歩道橋や地下道ができれば良いと思う。
	住民/飯田市/70歳以上	歩道、自転車道の整備が必要、歩行者は危険を感じている。
	住民/飯田市/60代	渋滞を無くし歩行者(小中学生)などが安全に通行できるのでバイパスをつくることに賛成です。
④リニア新幹線を利用した観光客が観光地へ行きやすいことが重要	飯田市	移動時間の短縮により、リニア駅を発着とした市内の観光誘客や、阿智、昼神地域と連携した観光誘客が期待できる。
	高森町	現道改良だけでは、リニア駅から観光地へのアクセス性向上など、望む効果が発揮できないと考えている。
	阿智村	リニア駅とのアクセスを改善していくことで、中京圏だけでなく首都圏からの観光客を多く地域に呼び込み、観光の活性化する効果を期待している。
	阿智村商工会	山本小学校前のJR跡地を利用してリニア駅までのアクセスを良くして欲しい。またリニア開通と道路整備が相まって昼神温泉が身近なものになるような道路整備を行ってほしい。
	大鹿村観光協会	飯田山本IC方面から大鹿村方面へのアクセスが良くなることで、リニア駅ができた後のことも見据えて周遊のしやすさを期待。
	日本旅行業協会(JATA)本部事務局	リニア飯田駅をハブとするスムーズでストレスの無い、観光・旅程を提供することにより、飯田市・及び周辺観光地を訪問する旅行客の増加。
	住民/阿智村/20代	観光拠点へ昼神と飯田市リニア駅を1分でも早く結ばれることが重要
⑤自然環境の変化が少ないことが重要	住民/飯田市/60代	なるべく今の環境を悪くしない様に自然を害さないように。
	住民/飯田市/20代	飯田の一番の魅力は自然環境の良さだと思うので現道を使用する案を希望します。

1. 第2回意見聴取の結果 5)自由意見、ヒアリング結果③

- 工事中の影響では、工事中の渋滞回避や短い期間で工事を終わらせることを求める意見が寄せられた。
- 転居では、可能な限り転居が少なくなることを求める意見が寄せられた。
- 沿道利用では、新たな賑わい創出を望む声や、今ある国道153号のお店の保護を求める意見が寄せられた。
- 災害では、災害時に通行できるルートや複数のルートを確認を求める意見が寄せられた。

分類	回答者属性	主な意見
⑥ 工事中の周辺住民への影響が小さいことが重要	旭ヶ丘中学校	通学路の区間で工事が行われないことを重視したいため、バイパス案が好ましい。(対象区間の国道で、通学路指定している区間がある)
	住民/飯田市/70歳以上	工事が長くならない様にスムーズに進める事
	住民/飯田市/50代	費用も少なく工事周辺住民への影響が少ないバイパス案に賛成
	住民/喬木村/50代	工事を短期で終わらせる事が大事
⑦ 転居が必要な家・店舗など、現道の沿道利用環境の変化が少ないことが重要	飯田市	建物移転等、生活影響に負荷の少ないバイパス案をお願いしたい。
	住民/飯田市/70歳以上	できるだけ転居が少ないように、案1バイパス案がよいのではないかと思う。
	住民/飯田市/70歳以上	転居が少なく、安価で早期完成が重要
⑧ 国道153号(バイパス及び現道)の沿道利用が見込まれることが重要	飯田市	良好な道路環境となる事で新たな産業の進出や、新たな土地利用の検討に期待が出来る
	豊丘村	沿道の利用への影響は、長い年月をかけて出てくる。
	下條村商工会	観光周遊の立ち寄り施設の数が増えるのではないかと。それにより、地域振興につながると期待している。
	松川町商工会	商業施設も少し増えれば国道153号ににぎわいがでてくると思う。
⑨ 災害時に道路を通れることが重要	飯田市	災害時に道路を通れることで、被災者の避難、負傷者の搬送、物資の輸送、救援者の移動等が改善される。
	長野県 飯田建設事務所	緊急輸送路としての機能確保が重要。第一次緊急輸送路に指定されている区間である。なお、この区間が災害等で寸断された場合、緊急輸送路のネットワーク上、阿智村・平谷村方面と飯田市中心部との第1次緊急輸送路のルートが途絶えることとなる。(国道418号売木村経由の第2次緊急輸送路はあるが、大規模な迂回となる)
	南信州広域連合飯田広域消防本部	昔に比べて、救急車も大型化しているので、狭い道は追い越しが困難である。
	住民/飯田市/40代	事故や災害時に通行止めになった際にルートが複数あると良い
	住民/飯田市/70歳以上	災害時に(地震等)利用出来る様望む
	住民/阿智村/70歳以上	災害時を考えるとルートは多くあった方が良い。

1. 第2回意見聴取の結果 5)自由意見、ヒアリング結果④

- 費用では、無駄な費用をかけないことやより良い道路を作るための費用が必要との意見、またメンテナンス費用の考慮を求める意見が寄せられた。
- その他では、通勤圏の拡大、恵那山トンネルのう回路、周遊性の向上による観光振興に関する意見が寄せられた。

分類	回答者属性	主な意見
⑩道路をつくる費用が安いことが重要	豊丘村	構造物(橋、ボックス)整備時の維持費は課題となる。
	住民/下條村/60代	多少費用がかかっても良い道路をつくる事が重要。
	住民/松川町/60代	費用が安い事より安全な道路を
	住民/飯田市/40代	安全性や利便性を考えると費用が掛かるのは仕方ない
	住民/飯田市/40代	無駄な費用がかからないことが重要だと思う。
	住民/飯田市/40代	後々の、道路のメンテナンス費用があまりかからないことが必要と思います。
⑪その他 (自由回答)	喬木村	三遠南信道、中央自動車道、リニアの整備と、それらの相乗効果に期待。
	大鹿村	(飯田南道路だけでなく)道路整備により通勤圏の拡大を期待。
	愛知県	危険物積載車両は恵那山トンネルを通行できないため、国道153号が迂回路のひとつとして機能している。
	道の駅 信濃路下條	下伊那地域全体でみると、さまざまな市町村の観光資源を周遊しやすくなることで、地域全体の観光振興に期待。
	道の駅 南信州とよおかマルシェ	地域内で高速を使わずに移動しやすくなることで地域経済の活性化に期待。
	伊賀良消防署 山本分署	国道153号の大瀬木から北方にかけては車道幅員が狭く、大型車のすれ違いが難しい箇所となっている。また中高生による自転車の交通等の危険回避。
	飯田商工会議所	大雨が降った際に道が川になってしまうため、道路の路面は浸水性のあるものにしてもらった方がよい。
	長野県バス協会	バスの運行上、道路の円滑化で燃費が向上し、燃料費の節約が期待できる。
	天竜峡温泉観光協会	商業施設の増加やアクセス向上により観光客増加を期待している。